

Overview: 召会、キリストのからだは、一人の新しい人であり、神の永遠の定められた御旨を完成します。一人の新しい人としての召会の中で、キリストはすべてであり、すべての中にいます。私たちは、一人の新しい人の感覚の中で、召会生活を実行する必要があります。神のエコノミーの実行において、すべての社会的な地位や、種族と国籍の違いが飲み尽くされることは、極めて重要です。一人の新しい人の感覚の中で召会生活を実行するために、私たちはキリスト・イエスの内側の各部分(心の深み)の中に生き、キリストの心の深みを私たち自身のものとする必要があります。

I. 召会、キリストのからだは、一人の新しい人であり、神の永遠の定められた御旨を完成します—宇宙的な、団体の神・人:

A. 神が人を創造した目的は、団体的な人を得て、彼を表現し、彼を代行することでした。最終的に、一人の新しい人としての召会は、神の意の中の団体的な人です。この新しい人は、神を表現し神の敵を対処するという、二重の目的を完成します。

B. 一人の新しい人はキリストのからだと等しいです。キリストと私たちは共に一人の宇宙的な人を形成します。

C. 一人の新しい人は、キリストによって十字架上で二種類の材料(贖われた創造された人と神聖な要素)をもって創造されました。十字架上で、キリストはこれらの材料を一緒にして、新しい人を生み出しました: 1. 新しい人を創造することにおいて、まず私たちの天然の人はキリストによって十字架につけられ、それから古い人を除き去ることを通して、キリストは神聖な要素を私たちの中へと分け与え、私たちを新しい実体とならせました。2. エペソ第2章 15節の「ご自身の中で」という句が示しているのは、キリストが一人の新しい人の創造主であっただけではなく、一人の新しい人が創造された領域、また本質でもあったということです。』

D. 主の回復の目標は、一人の新しい人を生み出すことです:

1. 主が彼の回復の中で行なってきたこと、また今行なっていることは、命またパーソンとしての彼ご自身をもって、一人の新しい人を生み出して、神の表現とならせることです。2. 一人の新しい人は、神の王国をもたらし、地上に王なるキリストの再臨をもたらします。

E. 一人の新しい人としての召会の中で、キリストはすべてであり、すべての中にいます: 1. 一人の新しい人の中には天然の人はおらず、天然の人はあり得ず、天然の人に地位は与えられていません: a. 多くのさまざまな種類の人が一人の新しい人を形成しますが、すべての人はキリストの一部分です。もはや天然の人はいません。b. 一人の新しい人の中には、ただ一人のパーソン、すなわち、すべてを含むキリストがいるだけです。2. 私たちが有機的な過程を通してキリストで浸透され、満たされ、飽和され、彼によって置き換えられるとき、一人の新しい人は出現します: a. 新しい人は、キリストがすべての聖徒の中で、私たちに飽和し、私たちを置き換え、ついにはすべての天然の区別が取り除かれてしまい、すべての人がキリストで構成されるに至ります。b. すべてを含むキリストは、有機的に私たちの中へと造り込まれなければならない、ついには彼がご自身をもって私たちの天然の存在を置き換えるに至ります。』

3. 一人の新しい人の中で、キリストはすべての肢体であり、すべての肢体の中にいます: a. 私たちの中に住んでいるキリストは、一人の新しい人の構成要素です。b. キリストは新しい人のすべての肢体であるので、新しい人の中にはいかなる種族、国籍、文化、社会の身分にも地位がありません。

II. 私たちは、一人の新しい人の感覚の中で、召会生活を実行する必要があります:

A. コロサイ第4章7節から17節には、一人の新しい人の啓示と一人の新しい人の感覚の実例があります:』

1. コロサイの聖徒たちもパウロも、彼と共にいた人たちも、実際的に一人の新しい人の肢体であり、一人の新しい人の感覚を持っていました。2. 手紙を読むことに関するパウロの言葉は、ラオデキヤに在る召会とコロサイに在る召会の間に、何の違いもなかったことを証明します。彼の言葉は、交わり、一、調和、親密な接触を暗示します。3. 国籍、種族、階級のすべての違いにもかかわらず、地上には実行的に、キリスト・イエスの中で創造された一人の新しい人がありました。たださまざまな都市に地方召会があっただけではありません。真に実際的に一人の新しい人がありました。

B. もし私たちに一人の新しい人の感覚があるなら、さまざまな国のすべての地方召会が一人の新しい人であることを認識します。

C. ピレモンへの手紙は、コロサイ第4章の継続と考えられており、新しい人の中で信者たちの身分が同等であることの実例と考えられるべきです:』

1. オネシモとピレモンの事例は、新しい人の中ですべての信者が同等の身分を持っていることを説明しています。2. 信者たちの間の社会的な地位や身分の区別は取り除かれています。なぜなら信者たちは、彼らの命であるすべてを含むキリストで構成されているからです。3. 神のエコノミーの実行において、すべての社会的な地位や、種族と国籍の違いが飲み尽くされることは、極めて

III. 一人の新しい人の感覚の中で召会生活を実行するために、私たちはキリスト・イエスの内側の各部分(心の深み)の中に生き、キリストの心の深みを私たち自身のものとする必要があります:

A. 内側の各部分が表徴するのは、内側の愛情、優しいあわれみ、同情です。

B. キリストは人として、人の内側の各部分とそのさまざまな機能を持っています。キリストの内側の各部分の経験は、彼の思い、感情、意志、魂、心、霊における経験であり、彼の愛、願い、感覚、思想、決定、動機、意図を含んでいました。』

C. パウロは絶えずキリストの内側の各部分を経験した人でした: 1. パウロはキリストの内側の各部分において(彼の情感、細やかなあわれみ、同情において)さえ、キリストと一でした。2. パウロは自分自身の内側の各部分を保つことをしないで、キリストの内側の各部分を自分のものとし、a. パウロはキリストの思いだけでなく、キリストの内側の全存在を取りました。b. パウロの内なる存在は、変えられ、再形成され、再構成されました。

c. パウロの内側の存在は、キリストの内側の各部分をもって再構成されました。

3. キリストの中にあっただけのもは、真実(誠実、信実、忠信)なものであって、パウロの中にもありました。

4. 聖徒たちに対するパウロの愛は、彼の愛ではなく、キリストの中にある愛、すなわちキリストの愛でした。こういうわけで、パウロは自分の天然の愛によってではなく、キリストの愛によって聖徒たちを愛しました。

D. キリストを生きることは、私たちがキリストの内側の各部分にとどまることを必要とします: 1. パウロはキリストの内側の各部分を経験しました。彼はキリストの内側の各部分の中でキリストと一であり、聖徒たちを恋い慕いました。

2. パウロは天然の内なる存在にある生活をしませませんでした。彼はキリストの内側の各部分にある生活をしました。

3. キリストの中にある人になろうとするなら、私たちは彼の内側の各部分の中に、彼の柔和で細やかな感覚の中にならなければなりません。

4. キリストを生きることは、彼の内側の各部分の中に住むことであり、そこにおいて彼を恵みとして享受することです。

E. パウロはキリスト・イエスの内側の各部分を自分自身の内側の各部分とし、キリストのからだまた一人の新しい人である召会を顧みしました: 1. パウロは、キリストの感覚を自分自身の感覚とすることによって召会を顧みしました。召会に対するキリストの感覚は、召会に対するパウロの感覚となりました。

2. 私たちはパウロのように、キリストの感覚を私たち自身の感覚とすべきです。これは、私たちが一人の新しい人の中で団体的に生活し、一人の新しい人の感覚の中で召会生活を実行するのに、最も必要なことです。

F. ピレモンへの手紙には、キリスト・イエスの内側の各部分の中で生きた一人の新しい人としての召会生活の絵があります:

て重要です。4. もし私たちが、信者たちは新しい人の中で同等の身分を持っていることを見るなら、私たちの間には、社会的な地位、国籍、種族に関して何の問題もないでしょう。5. 信者たちの同等の身分とは、愛の事柄であり、この愛は信仰から来ます。新しい人の中で、信者たちは信仰の中で互いに愛し合います。

1. パウロの内側の愛情と深い同情は、オネシモと共にピレモンの所に行きました。
2. もし私たちがキリスト・イエスの内側の各部分の中で生きるなら、一人の新しい人の感覚の中で召会生活を実行します。
3. 私たちは一人の団体の新しい人の一部分となっているので、キリスト・イエスの内側の各部分の中に生きることによって新しい人の感覚を持つ必要があります。それによって、私たちはキリスト・イエスの内側の各部分の中に生きることによって新しい人の感覚の中で召会生活を実行します。』

第一日: エペソ2:1 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、16 また十字架を通して、両者を一つからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまったのです。

創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。

第二日: エペソ4:22 あなたがたは、以前の生活様式において、あの欺きの情欲によって腐敗している古い人を、脱ぎ捨ててしまったのです。

23 そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。

エペソ3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができるよう。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、

第三日: コロサイ3:10 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。11 その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

12 こういうわけで、神に選ばれた者、聖なる愛されている者として、思いやりの心、慈愛、謙そん、柔和、辛抱強さを着なさい。

コロサイ1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にはキリストであり、栄光の望みです。

第四日: ピレモン7 というのは、兄弟よ、私はあなたの愛によって、大きな喜びと励ましを受けたからです。それは、聖徒たちの心の深みが、あなたを通して新鮮にされたためです。

1 コリント16:24 キリスト・イエスにある私の愛が、あなたがた一同と共にありますように。

ピレモン10 私があなたに懇願するのは、捕らわれの身で生んだ私の子供、オネシモのことです。11 彼は以前は、あなたにとって役に立たない者でした。しかし今では、あなたにとっても私にとっても、役に立つ者となっています。

13 私は彼を私自身のもとにとどめておき、私が福音のために捕らわれの身となっている間、あなたの代わりとして仕えてほしいと思っていました。14 しかし、あなたの同意なしに、私は何もしたくありません。それは、あなたの善が強いられたものではなく、自発的なものとなるためです。15 というのは、彼があなたからしばらく離れていたのは、あるいは、あなたが彼を永遠に、完全に得るためであったのかもしれませんが。

17 それでも、あなたが私をパートナーとってくれるなら、どうか彼を私自身として受け入れてください。18 そしても、彼があなたに何か不都合な事をしていたり、何か負債があったりしたら、私の勘定にしておいてください。19 これを、私パウロが自らの手で書きます。私が返済します。あなた自身が私に負っていることについては、何も言わないことにします。

第五日: ピレモン5 それは主イエスに対して、またすべての聖徒たちに対して抱いているあなたの愛と信仰を、聞いているからです。

16 それも、もはや奴隷としてではなく、奴隷を超えて、愛する兄弟としてです。とりわけ、私にとってそうですが、あなたにとっては、肉にあっても主にあっても、なおさらのことです。

第六日: ピレモン12 彼は私をあなたに送り返しました—彼は、私の心そのものです。

20 兄弟よ、どうか主にあって、私があるから益を得ますように、キリストにあって、私の心の深みを新鮮にしてください。

ピリピ1:8 私が、あなたがた一同をキリスト・イエスの心の深みの中で、どんなに恋い慕っているか、神が私の証人です。

《預言の準備》

経験①: 思いの霊の中で日ごとに新しくされる

新しくすることは、私たちすべてを新しい人とならせます。この新しくすることにおいて、私たちは古い社会生活を脱ぎ捨て、召会生活を着ます。これは古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着ることです。主が今日、この働きを地上で行なっており、またこれが今日の主の回復の目標です。今日、全地で、彼を愛し、追い求め、従っている人はみな、彼らの思いの霊の中で新しくされて、新しい人となり、彼を彼らのパーソンとして取り、彼によって生きなければなりません。これこそ主が今日、求めていることです。神の全豊満はキリストの中に具体化されています。そしてこのキリストは私たちの存在の中へと造り込まれて、私たちの義、聖、愛、光となっています。これは新しい人の表現を持つ新しい人です。そのような表現を持つそのような新しい人は神の王国をもたらし、この地上に王なるキリストの再臨をもたらします。主の回復の目標は、まさに神の表現であるそのような新しい人となることです。

私たちがすべてを含むキリストを経験し享受した結果は、新しい人としての召会です。ですから、新しい人は、神の豊満としてのキリストに対する享受から出て来ます。私たちが日ごとにキリストを享受するとき、彼は私たちの中へと造り込まれ、私たちの存在の中へと構成されます。このようにして、キリストは私たちの構成要素とされます。日ごとに、キリストは私たちの中へと構成されていきます。最後に、私たちはみな徹底的に彼で構成されます。キリストで構成された結果、私たちは新しい人になります。この新しい人の中には、どの天然の人にも場所がありません。ただキリストにだけ地位があります。キリストは新しい人の中ですべてであり、すべての中におられます。繰り返しますが、新しい人の中でキリストはすべての肢体であり、すべての肢体の中におられます。

中高生編

あなたは学校生活のすべての事で、「思いの霊の中で新しくされる」(エペソ 4:23)ことを経験してください。もともと魂の主要な部分である思いと霊は別々です。しかしパウロはここで、「思いの霊」という表現を使って、思いと霊を結合させています。これは思いを霊に付け、思いが霊によって支配されていることを言っています。あなたが祝福されたクリスチャン生活を送るために、思いを霊に付けることを訓練し、思いの霊を持つことが極めて重要です。思いの霊を持つために、次のことを訓練してください。

1. 霊を訓練し、霊の中で燃えている必要があります。霊が、体、魂、霊の中で最も強い部分でなければなりません。霊が弱く魂が強ければ、魂があなたの霊を消してしまいます。
2. さまざまな状況の中で、思いが単独に考えるのではなく、思いを霊に付けて主と共に考え、主と共に勉強することを学んでください。キリストはあなたの中に住んでおり、あなたにとって無尽蔵な供給ですが、あなたが思いを霊に付けなければ、キリストの豊かさは、あなたの霊の中からあなたの学校生活に出てくることはできません。
3. 次のような短い祈りをたびたびしてください。

祈り1:「おお、主イエスよ。あなたを愛します。勉強する時に思いを霊に付けて、主と共に勉強することを学ばせてください。私は自分だけで勉強するのであってはいけません。あなたを私の知恵、力、忍耐力、暗記力などとして経験させてください。私を勉強において証しのある中高生にしてください。」

祈り2:「おお、主イエスよ。私は先生との人間関係において、クラスメートとの人間関係において、キリストの引き上げられた人性を体験したいです。私の人間性はバランスが悪く偏っているので、様々な人とうまくやっていけません。毎日あなたを食べ、あなたの人性にあずからせてください。アーメン！」

経験②: 一人の新しい人の感覚の中で召会生活を実行する

神のエコノミーの実行において、すべての社会的な地位や、種族と国籍の違いが飲み尽くされることは、極めて重要です。

もし私たちが、信者たちは新しい人の中で同等の身分を持っていることを見るなら、私たちの間には、社会的な地位、国籍、種族に関して何の問題もないでしょう。私たちは異なる人々について何の問題も持たないでしょう。人々の間でどのようにしてでも差別する人たちは、正常な召会生活を実行していません。真の召会生活を持つとするなら、人種、国籍、社会的な地位にかかわらず、すべての聖徒たちを受け入れなければなりません。

私たちはキリストのからだの肢体であるので、からだのための感覚を持つべきです。最初に、私たちはかしらの感覚を自分自身の感覚としなければなりません。…パウロは召会を顧みていた時、キリスト・イエスの内側の各部分を、彼自身の内側の各部分としていました(ピリピ 1:8)。これは、またパウロがキリストの感覚を自分自身の感覚とすることによって、キリストのからだを顧みていたことを意味します。キリストの感覚が、からだに対する彼の感覚となりました。私たちはみなパウロのようになって、かしらの感覚を自分自身の感覚とすべきです。このことは、からだの生活を生きるために最も必要です。さらに、かしらの感覚を私たちの感覚とするだけでなく、からだを顧みる原則の中で、そのようにすべきです。コリント人への第一の手紙第 12 章 25 節後半から 26 節で、パウロはこのように言いました、「各肢体が互いに同じ顧みを持つためです。もし一つの肢体が苦しむなら、すべての肢体が共に苦しみます。もし一つの肢体が栄光を受けるなら、すべての肢体が共に喜びます」。からだの生活を持つために、私たちは仲間の肢体を気にかけなければなりません。また、からだのための感覚で満ちていなければなりません。

在職青年編

あなたが日本人であれば、日本の文化の中で育てられ、中国人であれば中国の文化の中で育てられました。世界の先進国の中で特に日本はほとんどが日本人であるという特異な環境であることを知ってください。例えばニューヨークでは英語を話す白人だけでなく、スペイン語を話す白人、アジア系の黄色人種、アフリカからの黒人などが混ざり合っています。世界的に見て日本は外国人の人口が極めて少ない特異な国です。このような状況の中で育った日本人には、外国人に対する偏見が心の中に深く根付いています。このことは実は召会建造の大きな妨げになっています。

主を賛美します。神戸に在る召会は、3分の1強の聖徒が中国語を話す兄弟姉妹で、韓国語を話す聖徒たちや黒人の聖徒たちなどが 10%以上おられます。日本語を話す兄弟姉妹は半分強です。このような召会生活は新しい人の召会生活であり、新しく召会生活に入って来る新人が日本の排他主義から救われることを助けます。あなたは更に多くの日本人が救われることを願うと同時に、日本に住む中国人、韓国人、ベトナム人、ネパール人などの人々が救われて召会生活に入って来ることを願うべきです。

日本の政府は人口減少の社会問題を解決する手段の一つとして、教育を受けた外国人や資格を持っている外国人を積極的に受け入れようとしています。これは外側の日本における人類歴史ですが、その中に存在する神聖な動きがあります。神はこのような環境の中で、新しい人としての召会を建造しようとしておられるのです。あなたもこのような洞察力を持ったビジネス・パーソンとなってください。そうすればビジネスにおいても、あなたは洞察力を持って、プロジェクトを推進する優れた人になることができます。アーメン！

補充 114 霊と命——霊の中で主に向かって歌う

1. れいもて主に向かって、うちより主にうたう。
イエスにハレルヤうたい、主とひとつに調和す。
2. としひさしくわれらはしゅう教、おもいにあり、
また感じょうのなかにてさがせども見いだせず。
3. いまやれいにもどって、キリストいのちとし、
イエスをしよくすをまなび、もがきより解放さる。
4. ハレルヤ、れいのいのち、ハレルヤ、あたらしい。
おもいをれいにつけて、主の豊富を享受する。

中補 116 在灵里向主歌唱

1. 我们要在灵里向主歌唱，我们要从里面向主唱，
我们要阿利路亚向主唱，我们相调为一向主唱！
2. 我们曾多年在宗教里面，我们曾多年在心思里，
我们曾多年在情感里面，一直追求却在黑暗里。
3. 今我们操练灵里接触主，今我们操练取用基督，
今我们操练吃喝主耶稣，脱离挣扎奋斗的痛苦。
4. 阿利路亚！圣灵里的生命，阿利路亚！里面的新样。
当我们从心思中转入灵，祂一切丰富我们全享。

HYMNS 1141. Experience of Christ - In Spirit

1. We will sing to the Lord with our spirit,
We will sing to the Lord from within,
We will sing hallelujah to Jesus;
And be blent into oneness with Him.
2. We have been many years in religion,
We have been many years in our mind,
We have been many years in emotions,
Always seeking, but never to find.
3. Now we're learning to turn to our spirit,
Now we're learning to take Christ as life;
Now we're learning to feed upon Jesus
And be freed from all struggling and strife.
4. Hallelujah for life in the Spirit,
Hallelujah for newness within.
When we turn from our mind to our spirit,
We enjoy all the riches of Him.